

シンポジウム開催報告

新学術領域ナノメディシン分子科学シンポジウム
《革新的分子イメージングで拓く医学新領域》

開催日 2014 年 4 月 22 日、24～25 日

開催場所 東京工業大学すずかけ台キャンパス B2 棟 4 階 426 号室

概要 新学術領域ナノメディシン分子科学シンポジウム「革新的分子イメージングで拓く医学新領域」というタイトルで開催した。本領域から権田幸祐先生、福田紀男先生、樋口秀男先生、宇理須恒雄先生が代表し講演を行った。さらに領域外から(1)東京大学 山東信介先生が「高感度生体分子イメージングに向けた試行錯誤」(2)東京工業大学 近藤科江先生が「腫瘍内微小環境のインビボ光イメージング」、(3)筑波大学 長崎幸夫先生が「セラノスティックを目指したポリマードラッグの設計」 (4) 放射線医学総合研究所 須原哲也先生が「認知症における脳内蓄積タンパクの PET による生体イメージング」というタイトルでご講演頂いた。50 人以上の聴衆が集まり、当日は会場が満席になるほどであった。セミナーの翌々日から 2 日間にわたって、イメージング装置を構築する機器のデモを行った。合計 27 人の研究者が装置の見学・デモに訪れた。さらには、希望者には自身のサンプルを用いてデータの取得まで行ってもらった。生命に関わる事象をイメージング手法を用いて、より深く理解したいと思う研究者が多いと感じたシンポジウムであった。



山東先生の講演



須原先生の講演



長崎先生の講演



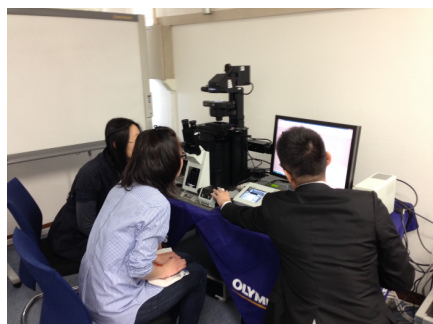
近藤先生の講演



樋口先生の講演



権田先生の講演



イメージング装置機器
デモンストレーション



イメージング装置機器
デモンストレーション